

ごあいさつ

すべては佐渡の未来と、
子どもたちのために

佐渡市長
高野 宏一郎



新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまにはお健やかに新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、6月に梅雨前線の影響による大雨被害が一部で発生しました。また、7月には中越沖地震が発生し、直接の地震被害は少なかつたものの、原発が被害を受けたことで、風評被害が増幅され観光シーズンの佐渡に大きな損害を与えて、いまだにその痛手から立ち直れない状況です。本年こそは穏やかな年となつてほしいものです。

さて、月日の流れは早いもので、今年の3月で佐渡市が誕生して丸4年を迎えることになりました。振り返りますと、国・県の財政難の影響を受けて合併後に予定していた事業を大幅に見直さざるを得ないなど、合併当初から予想を超えた難しい舵取りを余儀なくされました。

しかしながら市民の皆さまには、議会における議論や、対話集会における話し合いなどを通して、今までの「あれもこれも」を求めることから、「あれかこれか」の選択を求められていることを、ご理解いただきつつあると思います。

合併当初から掲げてきた「美しく、環境にやさしい島づくり」の理念は、島内一斉清掃やレジ袋ゼロ運動、放置自動車回収、てんぷら油で走るバスや生産調整田の Eta ノール米生産実験など具体的に温暖化防止に貢献し始めており、佐渡の持つイメージの高まりは確実に全国に発信を続けて、佐渡の存在感を強めています。

これを受けて、廃食油や生ゴミをリサイクルして再利用する「循環型社会づくり」やバイオディーゼル燃料精製などの試みは「地域再生計

画」として国から認定を受け、時の安倍首相から認定書をいただきました。

このような活動の成果として「環境と伝統をテーマの専門学校」誘致にも成功し4月の開校に向けて準備が進められ、高校卒業後の島内での進学が可能になるはずで

今年秋には一度自然から絶滅した種を、野生に復帰させる壮大なプロジェクトである、トキの試験放鳥が行われます。既に今まで、国や県をはじめ多くの市民や関係者のご努力で餌場づくりや環境保全型農業への取り組みが進んでいます。

また、昨年年末には、一度は涙を呑んだ世界遺産登録に再チャレンジし、泉田知事と一緒に文化庁に再申請いたしました。夏過ぎには明るいニュースをお届けしたいものです。

今後はこれらの取り組みにさらに磨きをかけ、具体的な地域の活性化、実効ある経済振興、市民が実感できる「賑わいの島づくり」に結び付けなければなりません。厳しい財政状況の中で、交通体系検討問題、医師確保問題、観光対策、農業、漁業はじめ一次産業対策等々問題は山積していますが、「すべては佐渡の未来と、子供たちのために」をモットーに、市民の皆さまとともに情報を共有し、意見を交わしながら困難に立ち向かってまいりたいと考えますので、一層のご理解とご協力をよろしく願います。

最後になりましたが、新たに迎えたこの年から皆さまにとりましても飛躍の年となりますよう心から祈念しまして、新春のごあいさつといたします。

新年の

自治基本条例制定に向けて



佐渡市議会議長
梅澤 雅 廣

新年明けましておめでとうございます。
今年、佐渡市が発足してから満4年が経ち、私達の任期もこの4月17日で満了となります。この間、市民の皆さまには、議会に対していろいろとご指導を賜り、誠にありがとうございました。

思えば、佐渡市発足早々に、国の失政のありを受けて、当初の新市建設計画を、大幅に見直さねばならなかったことは、誠に残念な出来事でありましたが、しかし、この難局を議会と執行部が議論を重ね、英知を集めて、乗り越え、重要事業や行財政改革を今日まで一つひとつ着実に進めて参りました。

さて、今、我が国は、自己決定、自己責任が求められる地方分権社会構築に向けての大改革のさなかにあります。私達は、この流れをしっかりと受け止め、佐渡市の持てる類まれな多くの宝を活かした、特色ある島づくりに向け、市民と議会と執行部の役割分担を明記した上で、協働して取り組む仕組みをつくらなければなりません。それが、自治体の憲法と言われる「自治基本条例」の制定であります。全国では、すでに制定している自治体もあれば、準備検討中の自治体もあり、今後ますます増えていくものと思われれます。佐渡市議会でも、12月定例会の一般質問で取り上げられました。この条例にどのような内容を盛り込むかは、条例の性格上自治体の自由であります。一般的には①まちづくり（市政運営）の方向性、将来像、②市民の権利（生活権、市政への参加権、情報公開請求権等）、③市（首長、議会、職員）の義務と責務、④市民の責務、⑤市民参加の手

続・仕組み、⑥住民投票の仕組み、⑦他の施策、条例との関係（最高規範性）等々でありましよう。この条例は言い方を変えれば、市政運営についての市民と議会と執行部の社会契約でもあります。市民の皆さま、どうかご一緒に一考ください。

今、佐渡市には、島内医療体制の整備強化や、学校・保育園の統合、また長期低迷の続く諸産業の振興策等々、難問が山積しております。自治意識を持った市民の参加がこれら問題の解決にも大いに寄与するものと確信するものであります。

誤解を恐れずに申し上げるならば、先哲の教えを摸して「佐渡市はどのような政府と議会を持つことができるだろうか」、4月13日を注視したいと思います。

最後になりましたが、市民の皆さまにとりまして、今年が幸せ多い年でありますよう心からご祈念申し上げます。私の新年のご挨拶とさせていただきます。

